

- ・建設産業は、**地域のインフラ整備・維持修繕の担い手**であると同時に、**安全・安心を担う地域の守り手**としてなくてはならない存在。
- ・少子高齢化や人口減少による**深刻な担い手不足**への対応、早期の災害復旧に向けた**地域防災力の強化等**が課題。
- ・**建設分野にデジタル技術（ICT活用工事、遠隔臨場等）を導入**することにより**生産性の向上**を図り、**働き方改革を実現**する。

建設分野へのデジタル化の取り組みを加速

県内建設業関係業者を対象に、ICT活用工事の実施レベル（未経験者・経験者）に応じた様々な**モデルケース**を創出するため、ICT関連機器の導入費用等に対し支援を行い、**取り組みの過程**や**取り組みにより得られた効果**などを**検証・整理**し、**県内全域へ横展開**する。

- 新** **建設業デジタル化促進モデル事業費補助金 54,000千円【補助率1/2】**
モデルケースごとに県内業者に対し、**ICT関連機器（建機・測器など）やICTソフトウェア等**を支援し、県内における**デジタル化の成功事例**を創出

<補助金のコース>

- チャレンジコース【補助上限額：2百万円】**
（ICT活用工事未経験者、12者程度想定）

【目的】
ICT活用工事未経験者を支援し、デジタル化の導入効果を体験（きっかけづくり）

- 【期待する姿】
- ✓ ICT技術を活用した3次元測量の実施
 - ✓ 3次元設計データ作成・活用
 - ✓ デジタル化による生産性の向上を実感

- ステップアップコース【補助上限：5百万円】**
（ICT活用工事経験者、6者程度想定）

【目的】
デジタル技術をフル活用できるように支援し、更なる生産性の向上による効果を体験

- 【期待する姿】
- ✓ 生産性向上による働き方改革の実現
 - ✓ 若手従事者のやりがい向上、定着
 - ✓ 若手や女性従事者等の人材確保

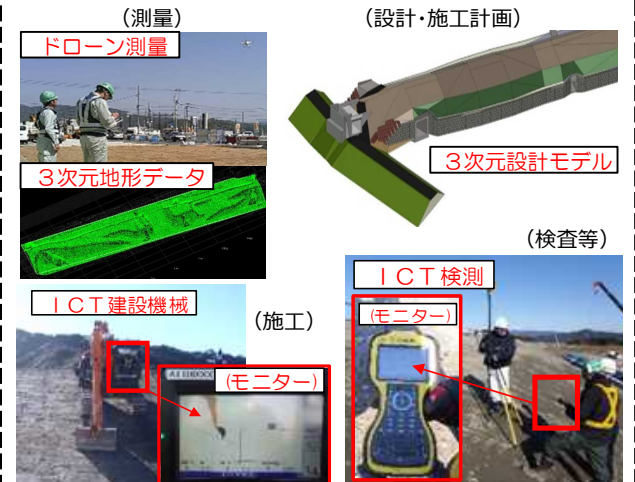
モデルケースごとにデジタル化の成功事例を検証し、各地域で研修会や現場見学会の開催やホームページ等の活用により、**県内全域へ横展開**

<デジタル技術の導入効果>

- **生産性の向上**：従来よりも測量や施工に必要な人員・日数を約3割削減可能
- **働き方の改革**：給料が良い・休暇が取れる・希望が持てる・安全性の向上・清潔・楽
- **建設産業のイメージアップ**：入職希望者の増加、若手離職者の減少

○ICT活用工事とは・・・

測量、設計・施工計画、施工、検査等の各プロセスにおいて、**ICT（デジタル技術）を活用する工事**



- 安全・安心を担う地域の守り手の確保
- 地域のインフラ整備・維持修繕の担い手確保
- 早期の災害復旧に向けた地域防災力の強化

県民の安全・安心の実現